



道東を中心に展開する
ロゴスホーム（本社・横
広、池田雄一社長）は、
今月7日、帯広市内に全

ロゴスホームのショールーム「エルミナ」は、建物内に4棟のタイプ別モデルハウスを展示

日間で1-153組が来場。消費者からは「天候を気にせず、モテルハウスクの外観もチエックできる」と好評を得ている。

同社ではショールームのオープンで、これまで開催してきた完成見学会の広告費やオープンの準備負担、駐車場などの問題を改善。営業面では、成約件数・単価・成約までのスピードが、確実に向上しているという。

週刊
住宅・リフォーム・不動産

住宅ファイル
情報をお寄せください
TEL 011(611) 6315 FAX 011(640) 2625

豊栄建設は、複合型住宅ショールーム「ハウジング・ラボ・サッポロ」をオープン。広さは3階建てビル2棟で、延べ247平方㍍。08年4月まで同社の事務所だったスペースと、ショールーム「フェアプレイス」をリノベーションした。
“もっと、楽しく自由に住まいを創る”をコンセプトに、同社のデザイン力を生かしたモルタルームや住設備などをそろえたショールームのほ
同社社長付の萬洋平氏は「ショールームは、当社の提案力や家造りに対応する企業姿勢を見ていただきことが目的。ふらつと立ち寄る方も増え、顧客的なお客様まだけではなく、潜在的なお客様まで多くなっている」と話す。
ホーム企画センター
「炭の家」を展開するホーム企画センターは、本社一階に、リビングや

同社の松本寿満専務は
ショールームについて
「住まいを造る側、暮ら
す側の双方が、楽しく時
間を共有できるような空
間づくりに努めた。炭の
家をイメージしてもらう
のに、有効な手段になつ
ている。本社に隣接する
宿泊体験施設との相乗效
果も大きい」と話す。

住宅営業の転換期

住宅会社のコンサルタ
ントを手掛ける向上計画
総合研究所（事務所・セ

螺、盛岡、東京)
太郎代表は、ショ
ム増加の背景とし
合展示場への来場
問営業や、完成見
反響型営業が曲が
来ていること指摘
ルームのメリッテ

ウスマーカーでも出展の見合せが増加。完成見学会の反響型営業は、中堅への取扱いの拡大への期待が大きい。小工務店に多いが、多数の企業が週末に集中して見学会を開催するため、集客効果が弱まっているという。

道内の住宅会社の中で、ショールームをオープンする会社が目立ってきた。事務所の片隅に設置された打ち合わせスペースではなく、来場型営業の核となり、企業ブランドを伝える場としてのショールームだ。自分のライフスタイルやこだわりに合った住まいを求める消費者が増える中、オープンして間もないが、先進的にショールーム来場型営業に取り組む3社を紹介する。

来場型営業の核に

売り込みへさまざまな工夫 自

ショールーム続々オープン

社ブランド、存分に発信

ーム「L-mina（エルミナ）」をオープンした。2007年5月まで十勝麥酒醸造が、地ビール製造工場併設のレストラン

に、豊栄建設（本社・札幌、古沢政治社長）とホーリー企画センター（同、青木雅典社長）がショールームをオーブンしている。

ーズギャラリー、新しい住まいの提案型ブースなどを設置。単なる展示場ではなく、選ぶ楽しみ、体感する喜びを実感でき

各2口方にはミテ
ングスペースやキッズルームを設置。1階フロアには授乳室を完備し、土日、祝日にはキッズルームが常駐する。

ヨウエアル

キッキン、玄関などを「
アウトした「アリア・
サローネ」(約330坪)
方庭)、3階に住設設備
仕様を展示した「アリア
・マテリア」(約310
坪方庭)をオープンした
炭の室内装飾が炭の家を
強く印象づける。

を。ノヤギ・レ